

# 西海ブロック水産業情報

NO. 66 (平成21年7月～9月)

## 増養殖情報

山口県	福岡県	佐賀県	長崎県	熊本県
<p>特記事項なし</p>	<p>特記事項なし</p>	<p>【水産増養殖関係】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>●アゲマキの囲繞堤を使用した底質改善試験、タイラギ干潟移植試験、養殖マガキモニタリング調査、放流アゲマキ追跡調査、</li> <li>●天然採苗カキ及びサルボウ濾水速度試験、天然採苗カキ、サルボウ浮遊幼生・稚貝発生状況調査</li> <li>●沖合域におけるモガイ殻 散布耕耘試験</li> <li>●ガザミ放流</li> <li>●シンクロトロン光によるケンサキイカ平衡石の分析</li> <li>●クエ、オニオコゼの追跡調査</li> <li>●トラフグ、アワビの放流と追跡調査</li> <li>●エチゼンクラゲを、8月7日に初認。9月上旬に週間最大となり、その後減少したが、10月中下旬には再増加。直接的な被害は出ていない。</li> <li>●トリガイ(試験養殖用)種苗生産 平均殻長6～9mmの稚貝を、7月中下旬から1～1.5ヶ月、伊万里湾に垂下し、中間育成。 平均殻長28mmに成長、生残率65%と好結果。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>●標識放流:効果的な放流手法の確立するため トラフグ7万尾(7月、全長7cm、有明海他)、ホシガレイ3万尾(8月、全長5cm、有明海)、ヒラメ(8月10万尾)等重要魚種について標識放流を行った。</li> <li>●種苗生産</li> <li>●クエ:7月下旬に全長30mmサイズの稚魚23万尾を生産した。</li> <li>●カワハギ:7月中旬に全長30mmサイズの稚魚12千尾を生産した。</li> <li>●クロマグロ:7～8月に(独)水産総合研究センター奄美栽培漁業センターおよび大洋エーアンドエフ五島養殖場から受精卵を搬入して、種苗生産試験を計2回実施し、計2300尾の稚魚を生産した。</li> <li>●コウライアカシタビラメ:7月に全長30mmの稚魚約2500尾を生産した。</li> <li>●タイラギの種苗生産技術開発、マガキ(シングルシード)の種苗量産技術開発と試験養殖などを実施中。</li> <li>●7～9月 マハタ等養殖現地指導</li> <li>●養殖技術に関する学習会(対象:養殖業者等) 7月長崎市戸石町 マハタ養殖技術 9月佐世保市小佐々町 新魚種(マハタ、クエ)養殖技術</li> <li>●水産用医薬品適正使用に関する指導(学習会 対象:養殖業者等) 8月松浦市 9月佐世保市小佐々町、長崎市戸石町</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>●クルマエビ類の急性ウイルス血症(PAV)の発生が2件確認されたが周辺養殖場への被害は拡大しなかった。</li> <li>●ヒラメ養殖において、ストレプトコッカスパラウベリスによるレンサ球菌症の発生が確認された。</li> </ul>

鹿児島県	宮崎県	大分県	沖縄県
<ul style="list-style-type: none"> <li>●7月下旬から8月中旬にかけて、八代海でシャトネラアンティーカによる大規模な赤潮が発生。約120万尾(2年魚が主体)の養殖ブリが斃死し、約20億円の被害。</li> <li>●9月中旬、鹿児島湾奥でプロロセントラム属による着色を確認(表層で最高13250cells/ml確認)。養殖魚の斃死なし。</li> </ul>	<p>特記事項なし</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>●7月～9月の豊後水道における赤潮発生件数は、12件であった。</li> <li>赤潮構成プランクトンの内訳は、カレニア・ミキモイが3件、メソディニウム・ルブラムが3件、ゴニオラックス・ポリグラマが3件、コクロディニウム・ポリクリコイデスが2件、プロロセントラム・シグモイデスが1件であった。</li> <li>漁業被害は、カレニア・ミキモイ赤潮により、2件(佐伯湾、猪串湾)発生した。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>●養殖用ヤイトハタ種苗に対して、初めてのイリドウイルス感染症不活化ワクチン接種を行った。沖縄本島で約1万5千尾、石垣島で約1万5千尾の種苗にワクチンを接種したが、接種率は全体の15%程度と低く、今後さらにワクチン接種率を高めるよう指導を進めていく方針である。今年、県内養殖場でイリドウイルス病の発生が多く確認されているが、ワクチン接種した漁業者においては、現在も問題なく養殖が行われている。</li> </ul>